



教育目標

明るく思いやりのある子(きよく)
進んで学ぶ子(かしこく)
健康でねばり強い子(たくましく)

7月に新聞に掲載された作文は、4作品

今年度も子ども達の作文を新聞に投稿しています。7月に新聞に掲載された作文は、4作品です。一学期でなんと、28作品が掲載されました。授業の中で書き上げた作文や日記として書かれた文を応募しています。松田っ子の感性が素敵に表現されています。

知らなかったことを学ぶ

6年 名嘉眞みやび



「よろしくお願いします。」
5校時に井口教頭先生が、「勉強について」お話してくれました。
「勉強とは、知らなかったことを学ぶこと」だそうです。
私は、「勉強」を頭に思い浮かべると、国語や算数など教科のことがでできます。でも、今日の井口教頭先生のお話を聞いて、勉強には、とても大事な役割があるということがわかりました。
1つ目は、努力を忘れずに勉強をやり続けること自体が力になるということです。
2つ目は、勉強で得たことは、絶対に自分自身を支える力になり、将来を支えてくれるということです。
教頭先生が伝えたかったことをしっかりと受け止めて、これから勉強に真剣に向き合っていきたいと思います。
(琉球新報 7月14日掲載)

「ありがとう」がいえた

2年 ぐしけん れみ



今日、学校がおわってがくどうに行くとちゅうで、大雨がふりだしました。ダッシュでまっだこうみんかんにむかいました。
とちゅうで、ゆきなねえねえのお母さんにあって、車にのせてもらいました。
車にのるまえに「おねがいします。」と、いいました。
車からおりるときに「ありがとうございました。」といえたのが、うれしかったです。
おかげで、ぬれなくてよかったです。
(沖縄タイムス 7月25日掲載)

先輩から学んだ

6年 大城愛咲



今日は、「ようこそ先輩」のお話会で松田小学校の卒業生で現在弁護士をしている下地聡子先生がお話をしてくれました。
聡子先生のお話を聞いて、弁護士は、裁判で本当は罪を犯していないのに、やってしまったと疑いをかけられている人やどうしようもない事情があって、犯罪を犯した方の事情をお話して罪を軽くしたりする仕事をしているのだと初めて知りました。また、いじめや両親の離婚のことで私達のような子どもと関わることも知りました。
また、自分の夢をかなえるためには「目標を立てて、目標を達成するための方法を考えて実行に移すこと」だということもわかりました。夢をかなえるためには、辛いことも苦しいこともイヤなこともあるけど、楽しことを考えることで乗り越えられると話していたので、私もやってみようと思いました。
(琉球新報 7月28日掲載)

わが家の「三男ぬー」

4年 玉那覇弾



きのう、犬のチェリンといっしょにねむりました。
ぼくがふとんの上でねたふりをしていると、チェリンがそばによってきて、ぼくのととなりで、ねてしまいました。
チェリンの毛がとても気持ちよかったので、ぼくもねてしまいました。
朝になって、お母さんに「お母さん、チェリンはどこでねていたの？」ときくと、「弾のとなり。」と言ったので、とてもうれしくなりました。
ぼくは、朝にチェリンをさん歩に連れて行きました。さん歩からもどると、チェリンはすぐにお父さんやお母さんにしっぽをふってあまえます。そんなチェリンはやっぱりかわいいです。
チェリンをひろってペットにして、とてもよかったと思います。玉那覇家の三男ぬーです。チェリンは、海で泳いでも、どんなことをしても、とてもとてもかわいいです。これからも、チェリンを大切に育てたいです。
(琉球新報 7月30日掲載)